

【BMS 専攻シラバス】

授業科目名	微生物感染症学特論			授業形式	講義	
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位	選択・必修	選択必修	
コーディネータ	森 康子	曜日・時限	木曜 13:00 - 15:30			
担当分野名	臨床ウイルス学分野					
担当教員名	概要参照					
学習到達目標	BMS 専攻に必要な微生物感染症学(ウイルス学、細菌学、真菌学、寄生虫学、感染免疫学)の知識を修得する。また、時に応じて、微生物感染症学研究の最先端のトピックスに触れ、生命科学研究における微生物感染症学の意義と展望について学ぶ。					
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者
	1)	10/3 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	性感染症	荒川 創一
	2)	10/10 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	HIV	亀岡 正典
	3)	10/17 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	細菌毒素の検出法	秋山 由美
	4)	10/24 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	ウイルス下痢症(食中毒)	近平 雅嗣
	5)	10/31 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	B 型肝炎	矢野 嘉彦
	6)	11/7 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	C 型肝炎ウイルス	勝二 郁夫
	7)	11/14 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	腸チフス	白川 利朗
	8)	11/21 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	寄生虫症から学ぶ	斎藤 あつ子
	9)	11/28 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	マラリア感染症	入子 英幸
	10)	12/5 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	感染免疫学とワクチン	青枝 大貴
	11)	12/12 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	麻疹及びその他のパラミクソウイルス感染症	伊藤 正恵
	12)	12/19 (木)	13:00~ 15:30	共同会議室	ヘルペスウイルス感染症	森 康子
履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)	この専門領域トップクラスの講師を招き、講義を行ってもらうことにより学生の研究意欲の向上をはかる。実施した授業のテーマから任意の一つを選択して、レポートを提出。詳細は授業後半に指示する。					
参考書						
成績評価方法と基準	講義への出席状況およびレポート提出により総合的に評価し、評価が60点以上となったものを合格とする。評価の目安は、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”，その中でもさらに優れたものについては“秀”，講義の内容はよく理解したが、積極性が十分でない判断できる場合を“良”，講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。					
備考	(メールアドレス) ymori@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー)					